平成27年度版

家庭学習の手引き

～すすんで考え　表現する子をめざして～

家庭を学びの環境に

その１　基本的な生活習慣を見直しましょう
　早ね・早起き・朝ごはんを実行させましょう

その２　家庭の学習環境を整えましょう
　決まった場所で一定の時間、
　テレビを消して学習に集中させましょう

その３　学習習慣の定着をめざしましょう
　基本的な学習習慣や
　自学自習の習慣を身につけさせましょう

十和田市立ちとせ小学校

低学年（１・２年）

…基本的な学習習慣を身につけさせましょう

「早ね・早おき」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の定着に欠かせません。
　また、家族の助けを借りながら家庭学習を行い、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることが大切な時期です。

学習の特徴

◆「読み・書き・計算」などの、基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、くりかえし練習することで力がつく内容がたくさんあります。
◆「正しいしせいですわる」「えんぴつを正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整とんをする」などが、学習の基本になります。
◆生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

家庭での援助

・学校からの課題として、１・２年生とも宿題プリントと音読を毎日行わせることを原則とします。
・１年生には宿題をやりきらせることを続けます。
・２年生は、プリント表裏１枚に取り組ませ、週末に絵日記や漢字練習に取り組ませます。

●学習を始める前に、テレビなどを消しましょう。
●勉強する場の整理整とんをしましょう。
●まずは宿題をやりきらせることを続けさせましょう。
●学習時間を決めて、音読や家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
●学校からの連絡やおたより、明日の授業などを子どもと一緒に確かめましょう。
●一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

中学年（３・４年）

…自主的な学習習慣を身につけさせましょう

　自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉の数）もぐんとふえ、抽象的な思考ができるようになると言われています。

　反面、「急に勉強がむずかしくなった」と戸惑ったり、苦手意識をもったりする子どもも出てきます。自信をもたせたり、やる気をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

◆総合的な学習の時間や社会・理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。

◆国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。

◆算数では、四則計算（＋－×÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭での援助

・学校からの課題として、３・４年生とも宿題プリントと音読を毎日行わせることを原則とします。
・３年生は家庭学習ノートに取り組ませます。
・４年生は家庭学習ノートと漢字ノートを交互に取り組ませます。また、週末にうち読や日記、暗唱・音読に取り組ませます。

●「低学年じゃないのだから」と目を離してしまわず、あたたかい励ましの言葉でやる気を起こさせたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。

●自分から机に向かい、集中して取り組む習慣を身につけさせましょう。

●学習をする前に、学習する場所の整理整とんを行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。

●学校からのおたよりなどを親に手渡す習慣をつけさせましょう。

●社会や理科で勉強する地域社会や文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

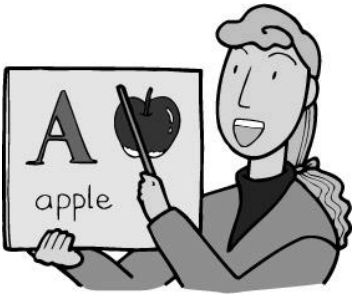
高学年（５・６年）

…自学自習の習慣を身につけさせましょう

生活習慣のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族の言葉がけが大切になります。自分の将来をふくめ、目標を決めて努力できるように、あたたかく見守りながら励ましていくことが大切です。

学習の特徴



◆学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。

◆筋道を立てて考える力や、広い視野で物事をみる力が必要になります。

◆家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。

◆外国語活動が始まり、英会話の基礎を学びます。

◆自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。

家庭での援助

・学校からの課題として、５・６年とも音読を毎日行わせることを原則とします。

・家庭学習ノートやプリントを、５年生は５０分以上、６年生は６０分以上取り組ませます。

※問題集など学校からの課題以外に取り組むこともお勧めします。上手に活用し学力向上につなげましょう。

●「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりしてあげましょう。

●家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしてあげましょう。

●学習する場所を決め、整理整とんし、計画を立てて学習が進められるようにしてあげましょう。

学習規律の確立に取り組んでいます

そのほかに学校では、授業時に守ることや、家で行うことなど、次のようなやくそくを全校で取り組むことにしました。ご理解とご協力をお願いします。

◆授業時に守ること◆

①始まりのチャイムで着席する
②号令が始まる前に学習の準備をする
③服装をととのえる（シャツ・ズック）
④姿勢よく学習する
⑤話す人の方を見て聞く
⑥だまって最後まで聞く
⑦うなずき反応しながら聞く
⑧わかったら「はい」と返事をする
⑨その場に応じた大きさの声で話す
⑩「です・ます」を使って最後まで話す

◆家で行うこと◆

①学習用具の準備をする

＊筆箱の中身は＊
・鉛筆（Ｂか２Ｂ）
５・６本
・消しゴム
・赤ペン・青ペン
・名前ペン（油性）
・ミニ定規

②学校からの配布物を必ず家の人に渡す
③宿題等の提出期限を守る